状態は未だ継続していることになる。

北朝鮮政府としてはアメリカを代表とする国連軍と対等な立場で正式な終戦協定を締結したい。金王朝体制を末永く保証してほしい。経済援助をしてほしい。本音はそんなところなのか。危険窮まりな痴屈な賭のような外交戦術だ

北朝鮮国内では相変わらずの自画自賛の狂態であるが、故金正日総書記の誕生日が 2 月 16 日なので、祝賀が行われ故総書記の業績を讃える論が朝鮮労働党機関紙や労働新聞に社説として発表された。

長距離弾道ミサイル発射、それに続く核実験の成功は故金総書記の「不滅の業績」と讃え、さらに衛星打ち上げや核実験の成功は、偉大なる将軍（金総書記）の「非凡なる先見の明」のおかげだと持ち上げ、「不滅の業績は長く輝くだろう」と強調し結んである。

朝鮮通信が 2 月 16 日に伝えたことによると金正恩第一書記は生誕祝日に、金総書記の遺体が安置されている錦繍山（クムスサン）太陽宮殿を訪れ成功を報告した。

15 日には平壌で、金総書記の生誕 71 周年を祝う中央報告会が行われた。

ここで気になるのは、父親である金正日は総書記であり、金正恩は第一書記であるから、父親が任じていた総書記の地位は未だ継承していない。

そうすると継承のためには何かをやって業績を認めさせようとする冒険心が起き、暴走しかねない危険性を有することになる。未だ経験の無い世界での独裁となれば一部の勢力に操られる危険性が懸念される。

北朝鮮は世界の孤児とか、孤立した国とか言われているが、中国、ロシアをはじめとする 162 カ国との国交があり、外交官が派遣されているし、国連に加盟するれっきとした独立国である事を忘れてはいけない。

日本や韓国は外交関係が無く、経済関係も経済封鎖をしており、拉致問題と早急な解決が望まれる課題を抱えながら全く進展は無い。相互に完全無視状態にある。

今回の核実験実施も中・露・米の三カ国には事前通告があったらしい。我が国はアメリカ政府からの通告で辛うじて事前に知った。

アメリカとは裏での交流があるらしく、事実密かに三沢基地から米政府高官が平壌を訪れているらしい。CIA やその他の組織がある国だから水面下や裏工作はあって当然、硬軟取り混ぜて外交交渉は力が背景にあってこそ出来る芸当だが、裏も表も何も出来ない国は無視されても仕方が無い。

安倍首相は自分の政権時代に拉致問題は解決すと明言したが、小泉内閣の時の経験を生かして是非とも拉致問題を解決してほしい。

韓国について、2 月 25 日、朴槿恵次期大統領の就任式がソウルで行われ、我が国からは麻生副総理が出席した。

韓国第 5 代～第 9 代大統領を務めた朴正熙の長女、1974 年 8 月 15 日、光復節の式典に出席中の母親、陸英修が大